



学校だより 10月号

文京区立第一中学校 令和6年10月19日(土)

旅

校長 田島 佳子

旅：自宅を離れてよその土地に行くこと

毎年、合唱コンクールの練習が始まるこの瞬間がとても好きです。授業が終わると校舎のあちこちからハーモニーが響いてきます。合唱コンクールの季節がきたなあと感じさせてくれます。担任をもっている時は、クラスの合唱練習に夢中になっていました。管理職になってからは、できるだけすべてのクラスの練習を見るようにしています。合唱コンクールにきていただいている特別審査員の島崎達朗先生は、私が副校長の時の校長先生で元は音楽の教員でした。吹奏楽も指導しておられました。今年で5年目の特別審査員です。皆さんの合唱をととても楽しみにしておられます。

1年生の課題曲「カリブ夢の旅」や2年生の課題曲「時の旅人」の題名に旅があります。旅にも色々あります。一人旅や記念の旅、家族旅行、修学旅行、心の旅などです。私には田舎がありません。私の周りの友達は今夏休みになるとおじいちゃんやおばあちゃんの家に行くと言って、楽しそうでした。「いいなあ、みんなには田舎があって」とよく言っていました。そんな私を見ていた両親はよく私を旅行に連れて行ってくれました。霧ヶ峰や白樺湖、伊勢神宮や三重県の津にある母の友達の家に行ったことを覚えています。潮干狩りに行ったり、トラックの荷台に乗ったり、蝉やカブトムシを捕まえたりしていました。田植えもしました。

結婚をして家族ができてからは、テントやシュラフを買ってキャンプによく行きました。子育てが一段落してからは、一人旅にはまりました。ツアーで国内や海外に行きました。一時期、とても外国に憧れて長期休業の度に出かけていましたが、そのうちに、外から見て、本当に日本はすごい国だということに気がつきました。こんなにどんな料理も美味しく安全で、清潔な国はありません。日本の良さを再確認した私は、今度は国内旅行に夢中になりました。旅のテーマを決めて、まだ行ってないところを中心に出かけました。そして今は近場の秩父、涼しい富士見高原や気に入った奥武蔵や八丈島、次女が住んでいる静岡に行っています。

さて、話は変わりますが、皆さんは「ユニクロ」が何の略だか知っていますか。ユニーク、クロージング、ウェアハウスの略です。会社の創業者は山口県宇部市の商店街の洋服屋の息子でした。時代の変化でスーパーなどができて、地方の商店街のお店はどんどん閉鎖されていきました。なんとかしたいともがき続け、答えを探すために旅にでました。旅先は世界です。新しいビジネスモデルを求めて世界中を旅しました。そして見つけました。今では、よく見る風景ですが、当時は、倉庫のような大きな空間に洋服が並べてあるだけのお店はありませんでした。今までとは違うユニークな洋服の店というコンセプトが時代にマッチしたのです。

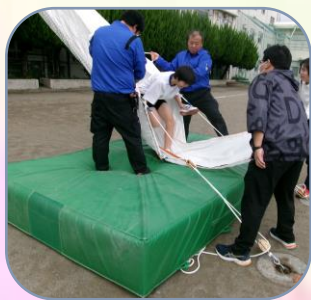
(ユニーク：独特 クロージング:clothing:衣類)

今居るところを離れて別の所に行く。別の所から今居る所を眺めてみると、

ユニークな洋服の店、ユニークな風景、ユニークな旅、ユニークな思い出

避難訓練 10月10日

オリンピック ソフトテニス 9月21



合唱コンクール 練習風景



10月15日(火)から合唱コンクールに向けた放課後の練習が始まりました。
どの学年も自主的に練習をしています。

課題曲 1年 カリブ夢の旅 2年 時の旅人 3年 大地讃頌

自由曲

1-1 地球星歌 1-2 新しい世界へ 1-3 HEIWAの鐘

2-1 ほらね、 2-2 海の不思議

3-1 虹 3-2 決意

本番は10月26日(土)